【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法評価学実習		必修	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
元山 美緒 他	D320	mio.motoyama	水曜日 10:40~12:10		
授業の目的・概要	理学療法は、対象疾患に対して評価を行い、行った評価から問題点を抽出し、その問題点に対して介入を行うことになる。本授業では理学療法評価学で学んだ評価に加え、新たに疾患に即した評価方法を学び、各検査・測定項目の習熟を図ることを目的とする。加えて、疾患に対応した評価項目の抽出、実施方法を習得し、評価内容の解釈および問題点の抽出方法を身につけることを目的とする。				
授業形式・方法	☒ 対面授業 ☒ 講義 ☒ 演習 ☒ PBL ☐ 反転授業 ☐ ディスカッション・デベート ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 実習 ☒ 実技 ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 遠隔授業(自主学習) ☐ その他 ()				
学習上の助言	理学療法対象疾患への基本的な評価方法の講義および実技が中心となるため、解剖学および運動学の知識と整形外科および神経内科等で学んだことを復習しておくことが望ましい。				
教科書	理学療法評価学 第 6 版 著：松澤正 他 金原出版 新徒手筋力検査法 第 10 版 著：Hislop HJ 他 訳：津山直一 協同医書出版社 ベッドサイドの神経の診かた 改訂 18 版 著：田崎義昭 他 南山堂				
参考書	なし				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	理学療法対象疾患に用いる基本的な評価内容について説明できる。			PT (1) ~ (4)、(6)	
②	理学療法対象疾患に用いる基本的な評価内容を実践できる。			PT (1) ~ (4)、(6)	
③	各疾患から想定される問題点を列挙でき、症例に即した評価項目を選定できる。			PT (1) ~ (4)、(6)	
④	各評価結果のつながりを解釈できる。			PT (1) ~ (4)、(6)	
⑤	評価内容から推察される問題点について考えることができる。			PT (1) ~ (4)、(6)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	ICF、腱反射検査、関節可動域検査 (手指・足趾) について学習する。	[担当] 元山	講義、GW、 実技		
2	模擬症例に対して腱反射、関節可動域検査 (手指・足趾) を実践する。	[担当] 元山、坂本	講義、GW、 実技		
3	疼痛評価、知覚検査、病的反射について学習する。	[担当] 元山、坂本	講義、GW、 実技		
4	疼痛検査、知覚検査、病的反射を実践する。	[担当] 元山、坂本	講義、GW、 実技		
5	片麻痺機能検査、筋緊張検査、脳神経検査について学習する。	[担当] 元山、坂本	講義、GW、 実技		
6	片麻痺機能検査、筋緊張検査、脳神経検査を実践する。	[担当] 元山、坂本	講義、GW、 実技		
7	歩行機能評価、バランス検査、姿勢反射検査について学習する。	[担当] 元山、坂本	講義、GW、 実技		
8	歩行機能評価、バランス検査、姿勢反射検査を実践する。	[担当] 元山、坂本	講義、GW、 実技		
9	協調性検査、日常生活動作評価、高次脳機能検査について学習する。	[担当] 元山、坂本	講義、GW、 実技		
10	協調性検査、日常生活動作評価、高次脳機能検査を実践する。	[担当] 元山、坂本	講義、GW、 実技		
11	動作分析について学習する。	[担当] 元山、源	講義、GW、 実技		
12	これまでの実技確認を行う。	[担当] 元山、坂本	講義、GW、 実技		
13	整形外科検査について学習する。	[担当] 元山、源	講義、GW、 実技		

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

回	学習内容等		授業の方法	事前事後学習内容・必要時間（時間）			
14	整形外科検査を実践する。	[担当] 元山、源	講義、GW、 実技				
15	筋力検査（体幹）について学習・実践する。	[担当] 大塚、坂本	講義、GW、 実技				
16	筋力検査（体幹）について学習・実践する。	[担当] 大塚、坂本	講義、GW、 実技				
17	模擬症例（整形外科疾患・中枢神経疾患）に対して評価項目の抽出・関連性の検討を実践する。	[担当] 元山、坂本、源	講義、GW、 実技				
18	模擬症例（整形外科疾患・中枢神経疾患）に対して評価項目の実践を行う。	[担当] 元山、坂本、源	講義、GW、 実技				
19	これまでの実技確認を行う。	[担当] 元山、坂本、源	実技				
20	これまでの実技確認を行う。	[担当] 元山、坂本、源	実技				
21	整形外科疾患・中枢神経疾患症例への理学療法評価の習熟状況について確認する。	[担当] 元山、坂本、源	実技	授業で実施した検査方法について、実技の確認試験を行う。			
22	整形外科疾患・中枢神経疾患症例への理学療法評価の習熟状況について確認する。	[担当] 元山、坂本、源	実技	授業で実施した検査方法について、実技の確認試験を行う。			
23	これまでに行った検査項目の総復習を行う。	[担当] 元山	講義、GW、 実技				
試							
達成度評価							
総合評価割合（%）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	0	20	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	10	0	10	70
	思考・推論・創造する力	0	0	5	0	0	5
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	5	5
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記試験を実施して達成度評価する。実技試験は症例に基づいた評価項目の理解度を問う。			試験の添削、開示	
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	各疾患から考えられる問題点の抽出、各評価項目の選定を行い、成果物として概念図と ICF の作成を行う。 なお、成果物作成はグループ単位で行い、評価もグループ単位で行う。			成果物の添削	
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

		評価のポイント		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標				
ポートフォリオ	①				
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
その他	①	✓	授業内で行った実技の確認試験により、理学療法評価に関連する実技の習熟状況について達成度評価を行う。評価方法は個人の達成度評価とする。		実技試験後に点数および好評にてフィードバックする
	②	✓			
	③	✓			
	④				
	⑤				
	⑥				
備 考					
他 担 当 教 員	大塚 篤也、坂本 祐太、源 裕介				
教員の実務経験	回復期病院にて亜急性～回復期の呼吸器、循環器、脳血管疾患を担当。急性期病院では整形外科疾患、消化器外科疾患、脳血管疾患、呼吸器・循環器疾患を担当。				
実践的授業の内容	臨床現場で使用する機会の多い評価方法について実技を中心に教示するとともに、実際の症例に基づいた評価方法の工夫点なども加えた実践的な指導を行う。また、模擬症例を用いて疾患の問題点の抽出および評価項目の選定を実戦形式で行う。 *実技を実施する際は、動きやすい服装で参加すること。華美な服装や実技に適していない服装は注意を行う。				
そ の 他	授業態度：授業中の私語は禁止とする。口頭注意により授業態度が改善しない場合、退室を命じることがある。また、実技を行うため服装等は特に注意すること。 感染対策：本授業では大学が公表している感染対策及び教員が示す授業方法を厳守する。感染対策を遵守できない学生は面接授業の参加を認めない。今後の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、シラバス変更の可能性があることに留意してほしい。				